

ワクチン接種の改善求めて

戦論議会
要請への市
サポート予約

全力!

コロナ対策

基本は大規模検査と生活支援



コロナ対策について副市長に要請（7回目）

6月議会に先立ち日本共産党鉚路市議団は、蝦名市長に対し高齢者のワクチン予約がスムーズに進んでいない点について申し入れを行いました。その結果、市役所内に予約についての相談コーナーができた、七月中に希望する高齢者全員の接種が終わるよう予約枠が増えたりしました。

今議会の一般質問では、4人の党議員団全員が新型コロナウイルスについて質問。大規模集団接種会場は八月以降も必要ではないかとの質問に、市長は

「その考えはない」と答弁。PCR検査をもっと拡充すべきと求めても、部長は「重症化するリスクの高い人には行っている。それ以外の個々への対応は考えていない」と答弁。飲食店以外にも応援支援金を支給してほしいと要望しても、「支援制度や融資の情報発信をしている」とはぐらかすような答弁。

鉚路市のワクチン接種に関して問題はなかったと強弁する市長には、市民の感覚と大きなずれがあるのではないのでしょうか。

ワクチン接種のサポートを行いました!

5月31日から始まった、新型コロナワクチンの接種予約では、「何度電話してもコールセンターにつながらない」といった声が多く寄せられました。市議団は、電話で予約の取れない市民のみなさんをご自宅を訪問して、スマートフォンを使ってサポートを行いながら、一緒にワクチン接種の予約申し込みを行いました。スマートフォンでの予約は、ほとんどが1回で予約でき、時間も1件あたり約5分程度と非常に短くスムーズに予約ができました。

市は65歳以上希望者全員分のワクチンはあるとはいうものの、予約枠が全て埋まり予約がとれない方が現実に存在することが判明。予約枠を増やすよう要望しました。

「オリ・パラ開催中止を 求める意見書」の陳情 賛否

政党	賛否
共産党	賛成
市民連合	賛成
自政クラブ	反対
公明党	反対
新しい風	反対
新創クラブ	反対

鉚路湿原マラソン中止の鉚路市 しかし、五輪中止に反対する議員

市民から提出された「オリ・パラ開催中止を求める意見書」の陳情。委員会審査結果は賛成少数で不採択でした。私たちは、審査で鉚路湿原マラソンを中止した理由を教育委員会に質問。湿原マラソン実行委員会委員の医師から意見が出され「総合的に判断した」と答弁。専門家の意

見は「無理して開催しない」です。五輪も同じ様に、専門家は賛成していません。陳情者は「いま、取り組むべきは、感染拡大の防止徹底による医療崩壊の回避、希望者へのワクチン接種の早期完了」を強調しました。同意見です。陳情結果は右表のとおり。



市民が主人公
日本共産党

鉚路市議団だより

発行：日本共産党議員団 <http://jcpsigi.com/>
鉚路市役所本庁舎2階 TEL・FAX 0154-23-5212

2021年
7・8月号



日本共産党
鉚路市議団 HP

このチラシは政務活動費で作成しています

上下水道 料金改定

コロナ禍で苦しむ 中小事業者の値上げはやめよ

来年4月からの水道料金の2.9%分の値上げが提案され、9月議会で採決されます。一方、非常に高かった下水道料金は、資金不足が解消されたことから引き下げになります。家事用料金は20㎡/月の場合、上下水道あわせて値上げなし、8㎡/月に満たない家庭はわずかですが引き下げになります。

しかし業務用の料金は別です。村上議員の質問で、中小事業者はほとんどが値上げになることがはっきりしました。

銭湯も地下水や温泉水などを一切使わないところは、0.66円/㎡の値上げです。



とくに深刻なのはコロナ禍で苦しむ飲食店です。今回の値上げは当初4%と見込んでいましたが、市から2.5億円を補てんして、値上げ幅を圧縮しました。共産党議員団は「さらに繰り入れを増やして、中小事業者の値上げを回避すべき」と主張していきます。

■ 業務用水道料金と下水道使用料

	現行料金			改定案			増▲減		
	水道	下水道	合計	水道	下水道	合計	水道	下水道	合計
口径13ミリ、水量20㎡/月	5,186	4,502	9,688	5,336	4,389	9,725	150	▲113	37
口径20ミリ、水量40㎡/月	11,613	9,804	21,417	11,950	9,558	21,508	337	▲246	91
口径25ミリ、水量75㎡/月	23,036	20,128	43,164	23,704	19,624	43,328	668	▲504	164

(税込み、単位/円)



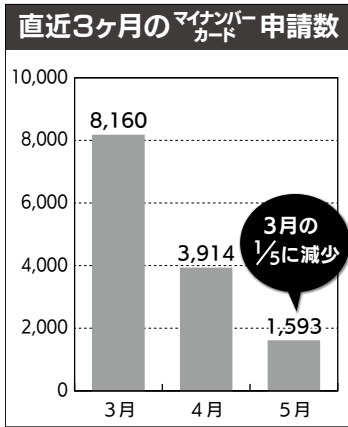
村上和繁 議員

マイナンバーカードの2023年 3月までの100%普及に赤信号

釧路市は、国の号令に合わせ全市民にマイナンバーカードを普及しようとして躍起になっています。買い物の際に使えるマイナポイントを最大5000ポイント付与するという特典が追い風でした。

しかし、ここに来てカードの申請が急減、ポイント付与のカード申請期限が終わったからです。

村上かずしげ議員の追及に、「R5年



夜盲の障がいを持つ人の声を代弁

3月まで100%普及を目指すのは自治体として当然、各種施策を講じて進めていく」と答えるだけで、肝心の全市民に普及できるかどうかは答えませんでした。そもそも普及が進まないのは、カードが無くて大きな不便はないうえに、情報漏えいなど、仕組みそのものを信頼していない国民が多くいるからです。

夜盲の障がいを持つ人に、暗い視界を明るくして見えるようにする「暗所視支援メガネ」が開発されました。患者団体も、障がいサービスの日常生活用具に指定して、無料あるいは低額で使えるようにしてほしいと、全国で声を上げています。

村上議員の質問に、市は「道内でも旭川市など3自治体で指定している。旭川市の取り組みを調査したり、患者団体から聞き取りするなど、研究したい」と答弁しました。今後に期待したいと思います。

上下水道 料金改定

コロナ禍で苦しむ 中小事業者の値上げはやめよ

来年4月からの水道料金の2.9%分の値上げが提案され、9月議会で採決されます。一方、非常に高かった下水道料金は、資金不足が解消されたことから引き下げになります。家事用料金は20㎡/月の場合、上下水道あわせて値上げなし、8㎡/月に満たない家庭はわずかですが引き下げになります。

しかし業務用の料金は別です。村上議員の質問で、中小事業者はほとんどが値上げになることがはっきりしました。

銭湯も地下水や温泉水などを一切使わないところは、0.66円/㎡の値上げです。



とくに深刻なのはコロナ禍で苦しむ飲食店です。今回の値上げは当初4%と見込んでいましたが、市から2.5億円を補てんして、値上げ幅を圧縮しました。共産党議員団は「さらに繰り入れを増やして、中小事業者の値上げを回避すべき」と主張していきます。

■業務用水道料金と下水道使用料

	現行料金			改定案			増▲減		
	水道	下水道	合計	水道	下水道	合計	水道	下水道	合計
口径13ミリ、水量20㎡/月	5,186	4,502	9,688	5,336	4,389	9,725	150	▲113	37
口径20ミリ、水量40㎡/月	11,613	9,804	21,417	11,950	9,558	21,508	337	▲246	91
口径25ミリ、水量75㎡/月	23,036	20,128	43,164	23,704	19,624	43,328	668	▲504	164

(税込み、単位/円)



梅津則行 議員

「コロナ禍」だからこそ市民からの要望は市長が直接聞くべき

毎年、市民団体（いのちとくらしを守る釧路市民会議）が市に予算要望しています。11月頃に要望書を提出し、3月に市から回答を受け取ります。しかし、14年間、一度も市長が「その場」に出てきたことはありません。出張が多いことから無理でした。しかし、「コロナ禍」で出張もほとんどなくなり市役所内にいます。在庁しているなら「日程調整」し市長自身が出席して、直接、市民の声を聞くべきです。総務文教委員会において強く主張しました。

過労死を誘引する「時間外労働150時間超え」改善を求める

「7月末までワクチン接種を完了」突然の号令、予約をめぐって「大混乱」。そして、その準備や調整に対応した現場も「大変な状態」でした。5月「時間外100時間超えた」職員が10人。そして150時間残業が複数に。他課からの支援を強化したが、過労死判断基準を大幅に超えています。改善を求めました。しかし、最大の問題は、政府の「後手後手」コロナ対策が職員に長時間労働を強いていることです。

声を届けて20年

市民のみなさんの声を届けて20年目。全国市議会議長会から表彰状をいただきました。6月定例会で芦野地域の方から寄せられた声を、直接市長に伝えました。

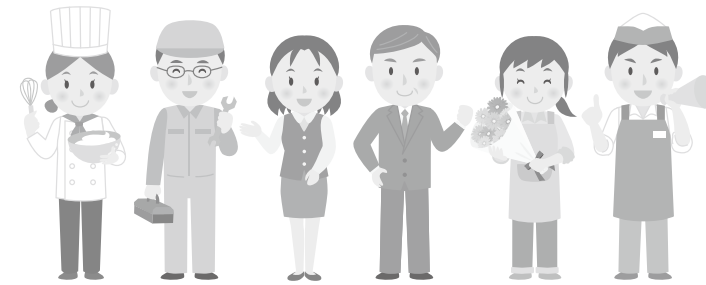
上下水道 料金改定

コロナ禍で苦しむ 中小事業者の値上げはやめよ

来年4月からの水道料金の2.9%分の値上げが提案され、9月議会で採決されます。一方、非常に高かった下水道料金は、資金不足が解消されたことから引き下げになります。家事用料金は20㎡/月の場合、上下水道あわせて値上げなし、8㎡/月に満たない家庭はわずかですが引き下げになります。

しかし業務用の料金は別です。村上議員の質問で、中小事業者はほとんどが値上げになることがはっきりしました。

銭湯も地下水や温泉水などを一切使わないところは、0.66円/㎡の値上げです。



とくに深刻なのはコロナ禍で苦しむ飲食店です。今回の値上げは当初4%と見込んでいましたが、市から2.5億円を補てんして、値上げ幅を圧縮しました。共産党議員団は「さらに繰り入れを増やして、中小事業者の値上げを回避すべき」と主張していきます。

■業務用水道料金と下水道使用料

	現行料金			改定案			増▲減		
	水道	下水道	合計	水道	下水道	合計	水道	下水道	合計
口径13ミリ、水量20㎡/月	5,186	4,502	9,688	5,336	4,389	9,725	150	▲113	37
口径20ミリ、水量40㎡/月	11,613	9,804	21,417	11,950	9,558	21,508	337	▲246	91
口径25ミリ、水量75㎡/月	23,036	20,128	43,164	23,704	19,624	43,328	668	▲504	164

(税込み、単位/円)



西村雅人 議員

学校給食費の助成を

釧路市は、小中学校の給食費の無料化も助成も行っていない。しかし近隣では、白糠、厚岸に続いて弟子屈、浜中、鶴居でも無料化が始まりました。この2年間無料化を求め続けても「その考えはない」という答弁の繰り返しで平行線のままです。旭川市では地産の米粉を市が購入しパンを提供するという助成制度があります。釧路でもせめて地元の魚、野菜、牛乳を現物支給するという助成制度なら、やる気になればできるはずと教育長に求めました。しかし学校給食法では食材費は保護者負担になっているからと、これを拒否。無

料化のみならず、一部助成さえもやる気がないことが浮き彫りになりました。

市営住宅の修繕を急げ

市営住宅に応募するものなかなか入れないという相談が多く寄せられます。実際に、緑ヶ岡の北陵団地を調査すると、集合ポストにガムテープを張っている住宅が29戸もあります。この数字を示し、早く修繕をして希望者に提供すべきとただしました。市は「北陵住宅には昨年6世帯が応募し3世帯が入居した」などと答弁。人気がない団地を修繕しても無駄になるだけと言っているかのようです。昨年応募が0ないしは数件程度だったという入りやすい団地は「鶴ヶ岱」「宮本」「柏木」とのこと。もしこれらの住宅に応募しても入れなかった人がいらっしやれば、市の説明と矛盾します。市営住宅の入居相談はお気軽にお寄せ下さい。



上下水道 料金改定

コロナ禍で苦しむ 中小事業者の値上げはやめよ

来年4月からの水道料金の2.9%分の値上げが提案され、9月議会で採決されます。一方、非常に高かった下水道料金は、資金不足が解消されたことから引き下げになります。家事用料金は20㎡/月の場合、上下水道あわせて値上げなし、8㎡/月に満たない家庭はわずかですが引き下げになります。

しかし業務用の料金は別です。村上議員の質問で、中小事業者はほとんどが値上げになることがはっきりしました。

銭湯も地下水や温泉水などを一切使わないところは、0.66円/㎡の値上げです。



とくに深刻なのはコロナ禍で苦しむ飲食店です。今回の値上げは当初4%と見込んでいましたが、市から2.5億円を補てんして、値上げ幅を圧縮しました。共産党議員団は「さらに繰り入れを増やして、中小事業者の値上げを回避すべき」と主張していきます。

■業務用水道料金と下水道使用料

	現行料金			改定案			増▲減		
	水道	下水道	合計	水道	下水道	合計	水道	下水道	合計
口径13ミリ、水量20㎡/月	5,186	4,502	9,688	5,336	4,389	9,725	150	▲113	37
口径20ミリ、水量40㎡/月	11,613	9,804	21,417	11,950	9,558	21,508	337	▲246	91
口径25ミリ、水量75㎡/月	23,036	20,128	43,164	23,704	19,624	43,328	668	▲504	164

(税込み、単位/円)



工藤正志 議員

生理用品の無料配布を、 小中学校や市の公共施設に！

コロナ禍の中、経済的な事情で生理用品が購入できないといった「生理の貧困」問題が全国的に問題になっています。市内の小中学校・市立北陽高校や市の公共施設(まなほっと・コア3館など)のトイレに、生理用品の無料配布を釧路市としても検討すべきではないかとの工藤まさし議員の質問に、市は支援が必要な方々へ、国の交付金を活用して、相談窓口の連絡先などを記載したシールを貼った生理用品を、小中学校の保健室や男女平等参画センター(くらっと)MOO3階)、生活支援相談センター「くらっと」で、11月頃から無

料で配布する予定であると答えました。

GPSを使った除雪システムや、 道路に関する相談アプリの導入を！

6月24日には、蝦名市長に直接質問することができる「市長総括」という機会があり、工藤まさし議員は「除雪事業における市長の考え方」や「GPS機能を搭載した除雪車」や「道路に関する市民からの相談アプリ」の導入を要望しました。「いっつになったら、市の除雪車が家の近くまで来て除雪するのか」「〇〇に道路の穴ぼこがあるので直してほしい」といった市民からの道路や除雪に関する要望に機敏に対応し、また市の職員や関連事業者の電話対応の負担を少しでも減らすことを考えるべきではと質問。蝦名市長は「こうしたシステムなどを導入することは難しいが、業務の効率化、簡素化をすることはとても重要で、今後の業務改善に役立てていきたい」と答弁しました。(釧路市の令和2年度の除雪関係の電話での問い合わせ件数は、3,112件)